

椋山女学園女子教育宣言を公開

学校法人椋山女学園（愛知県名古屋市、理事長：椋山泰生）は、本学園の教育姿勢を内外に広く周知する目的で、椋山女学園女子教育宣言を公開しました。

椋山女学園は教育理念「人間になろう」のもと、女子教育を堅持することをお知らせいたします。

【本件に関するお問合せ先】

椋山女学園広報課（担当：渡部、中島）

TEL：052-781-5940 メールアドレス：kouhou@sugiyama-u.ac.jp

椋山女学園女子教育宣言

椋山女学園は、これからも女子教育を堅持します。

椋山女学園は、「人間になろう」を教育理念としています。「人間」という概念は、近代ヨーロッパのヒューマニズムに端を発し、自分らしく生きる個であり、同時に他者と協働する個を意味しています。しかし当時、「人間」は暗黙のうちに男性を指すものと想定されていました。椋山女学園は、女性の視点で「人間」を捉え直し、女子教育へと発展させてきました。私たちは、この教育理念に基づき、女子教育において、他者を尊重し自分を大切にできる女性を育てています。

椋山女学園は、創立以来「女性により高い教育の機会を提供する」ために、一貫して努力を重ねてきました。現代においてもそれは意義があり、女性のための学びの維持は私たちの使命です。女性がさらに社会や企業の意思決定に参加し、責任ある仕事に就くことを東海地域で推進することに貢献していく学校が、今こそ必要です。そして、教育の場から社会へのトランジションと、それ以降の女性の自立と社会参画を応援することも、私たちの役割だと考えます。

社会の無意識の偏見が浸透しにくい女子教育の場において、児童・生徒・学生たちは、代替不可能な個として、日々、恐れることなく挑戦し、試行錯誤を重ねています。椋山女学園は、一人ひとりの女性が必要とする教育を提供することで、自己への深い理解を促し、それを卓越した個性へと昇華させる歩みを支援していきます。卒業生がいずれ社会の見えない壁を颯爽と飛び越えられるよう、教育機関として一層の努力を続けます。

椋山女学園は2030年に創立125周年の節目を迎えます。私たちは、変わらぬ教育理念を礎に、ますます女子教育を進化させ、新たな未来を切り拓いてまいります。

2026年5月

学校法人椋山女学園

理事長 椋山泰生